

## 令和5年度 図書館活動 目標・取組一覧

柱	番号	目 標	取 組 内 容
I 子どもたちの心を豊かに育む図書館	1	児童サービスの充実	「聖籠町子ども読書活動推進計画」の着実な実行に努める。
			成長(年齢)に合わせた選書を行う。
			ブックスタート・ブックスタートプラス事業を実施する。
			「おはなし会」やボランティアによる「紙しばい会」を開催する。
			移動図書館の巡回と「読み聞かせ」を実施する。
			団体貸出や「調べ学習」などの資料提供支援を行う。
			訪問事業により、図書館の幅広い利用や活用につなげる。
			ティーンズ向け資料の充実・活用と情報発信 こども園・司書教諭・学校図書館司書との情報交換により、現状と課題を共有する。
II 地域に根ざし、暮らしに役立つ図書館	1	図書館利用の推進	調査・レファレンスについて、親切丁寧なサービスを提供する。
			県内外の図書館と連携し、利用者サービスの向上を図る。
			わかりやすいサイン設置により、利用しやすい環境整備を行う。
	2	図書館資料の収集提供	利用者ニーズに応じた資料の収集と提供を行う。
			地域・行政資料の収集・保存・提供
	3	情報発信の充実	広報・ホームページにより、積極的な情報発信を行う。
テーマ展示やコーナー展示により、資料の提供を行う。			
「まち情報ギャラリー」を活用し、各種情報発信を行う。			
III 図書館誰もが集える	1	利用環境の整備	安心して利用できるよう安全管理と防災体制を整える。
			安全性・快適性を確保するため施設の点検や巡回を行う。
2	各種事業の開催と支援	所蔵資料を活用した講座や学習会を開催する。	
		趣味や作品発表など利用者の情報発信の支援を行う。	
IV 生き生きと活躍する職員と町民	1	職員の充実	利用者サービスの低下を招くことのないよう適切な人員配置に努める。
			職員の資質を高め、利用者サービスの向上につなげる。
	2	関係団体との協働	ボランティア団体の活動を支援・育成し、利用者サービスの向上に努める。
			図書館協議会の開催により意見提案を求める。
	3	町民意見の反映	「みなさんの声」による要望に適切に回答反映させる。
			普段からコミュニケーションを図り利用者ニーズを意識する。

<評価段階>

自己評価（図書館職員）

指標別評価	評価基準	目標達成率
A	目標を達成できた	目標値の100%以上
B	目標をおおむね達成できた	目標値の80%以上100%未満
C	目標をあまり達成できなかった	目標値の50%以上80%未満
D	目標を達成できなかった	目標値の50%未満

外部評価（図書館協議会）

I～IVの事業項目の達成状況について各委員からA～Dのいずれかの評価を行っていただき、その評点平均点により、最終的に各項目のA～Dの総合評価を決定します。

各委員の評価

総合評価	評価基準	評点
A	目標を達成できた	3
B	目標をおおむね達成できた	2
C	目標をあまり達成できなかった	1
D	目標を達成できなかった	0

協議会の評価

総合評価	評価基準	各委員の評点の平均
A	目標を達成できた	2.8以上
B	目標をおおむね達成できた	2.0以上2.8未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.0以上2.0未満
D	目標を達成できなかった	1.0未満

I 子どもたちの心を豊かに育む図書館

1 児童サービスの充実

- 【取組事項】
- ・「聖籠町子ども読書活動推進計画」の着実な実行に努める。
  - ・成長(年齢)に合わせた選書を行う。
  - ・ブックスタート・ブックスタートプラス事業を実施する。
  - ・「おはなし会」やボランティアによる「紙しばい会」を開催する。
  - ・移動図書館の巡回と「読み聞かせ」を実施する。
  - ・団体貸出や「調べ学習」などの資料提供支援を行う。
  - ・訪問(受入れ・出張)事業により、図書館の幅広い利用や活用につなげる。
  - ・ティーンズ向け資料の充実・活用と情報発信
  - ・こども園・司書教諭・学校図書館司書との情報交換により、現状と課題を共有する。

〈評価の指標〉

指標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①児童図書貸出冊数	60,927冊	61,500冊	57,390冊	93.3%	B
②0～18歳貸出利用者数 ※1	6,545人	6,600人	5,815人	88.1%	B
③児童図書蔵書冊数	52,939冊	53,400冊	53,942冊	101.0%	A
④おはなし会参加者数 ※2	345人	350人	418人	119.4%	A
⑤団体貸出利用冊数	20,957冊	21,100冊	20,760冊	98.4%	B
⑥訪問(受入れ・出張)事業参加者数	1,307人	1,320人	1,652人	125.2%	A
⑦移動図書館車貸出冊数 ※3	7,195冊	7,260冊	6,698冊	92.3%	B
⑧幼稚園・学校担当者会議の開催数	11回	11回	6回	54.5%	C

【参考】 ※1 貸出利用者数の内訳

	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳
R5年度	2,115人	3,428人	182人	90人
R4年度	2,130人	3,893人	389人	133人

※2 おはなし会の内訳

ぐるんぱの部屋	23回	123人
季節のおはなし会	8回	134人
赤いふうせん紙しばい会	12回	127人
その他	2回	34人
計	45回	418人

※3 小学校別貸出冊数

蓮野小	2,748冊
山倉小	2,610冊
亀代小	1,255冊
計	6,613冊

《用語の説明》

- 「団体貸出」… 町内の各種団体に対して1か月間100冊を上限に図書資料を貸し出す制度  
 「訪問事業」… 認定こども園、幼稚園、小学校との連携事業で出張訪問したり受け入れる  
 「移動図書館車」… 3小学校へ冬休み・夏休みを除き月2回巡回し、貸し出しを行っている

### 〈図書館職員自己評価〉

#### 【成果と課題】

- ・貸出に関する実績が軒並み前年度対比減となった。新型コロナ感染拡大以降、減少の傾向にあることから、まずは現状値維持を目標に、各種事業・イベント・選書・広報等に工夫を凝らし、有効登録者数の確保と新規利用者の掘り起こしに繋げて行きたい。
- ・おはなし会は開催回数を増やしたことにより参加者数の増加に繋がったが、職員の負担が大きかったことから、持続可能な事業となるよう開催方法について再検討が必要である。
- ・こども園の民間移行が2年目となり、運営体制が落ち着いたためか訪問事業の申し込みが増えた。今後も様々な団体に訪問してもらえるように働きかけていきたい。

### 〈図書館協議会の評価〉

#### 【評価内容】

- ・貸出冊数、貸出利用者数など5項目において目標値を下回る結果になった。図書館において様々な企画をしているが、減少要因の特定はできない。少子高齢化・人口減少が確実に進んでいることから、対象者（児童・生徒など）を母数とした比率による目標値設定にするなど、評価方法を再考することも検討されたい。
- ・おはなし会参加者数や訪問事業参加者数が増えていることは大いに評価できる。こども園・幼稚園・小学校児童が本への慣れ親しみの定着は、本に触れる機会の多寡が影響することはもちろんであるが、負担になりすぎないよう持続可能な事業実施を望む。

総合評価

B

## Ⅱ 地域に根ざし、暮らしに役立つ図書館

### 1 図書館利用の推進

- 【取組事項】
- ・調査・レファレンスについて、親切丁寧なサービスを提供する。
  - ・県内外の図書館と連携し、利用者サービスの向上を図る。
  - ・わかりやすいサイン設置により、利用しやすい環境整備を行う。

指標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①入館者数	65,385人	66,000人	68,805人	104.3%	A
②レファレンス件数（課題解決）	75件		85件		
③ //（所蔵照会）	2,901件		2,996件		
④相互貸借数（貸出・借受）	224件		240件		

### 2 図書館資料の収集提供

- 【取組事項】
- ・利用者ニーズに応じた資料の収集と提供を行う。
  - ・郷土・行政資料のほか、町内立地企業に関する資料も収集提供する。

指標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①総貸出点数	129,619点	130,900点	127,730点	97.6%	B
②有効登録者数 ※1	2,883人	2,900人	2,768人	95.4%	B
③予約・リクエスト件数	1534件	1,540件	1,604件	104.2%	A

### 3 情報発信の充実

- 【取組事項】
- ・広報・ホームページにより、積極的な情報発信を行う。
  - ・テーマ展示やコーナー展示により、資料の提供を行う。
  - ・「まち情報ギャラリー」を活用し、各種情報発信を行う。

指標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①定期的なホームページの更新（回数）	61回	61回	62回	101.6%	A
②テーマ展示・コーナー展示実施回数※2	155回	155回	151回	97.4%	B

【参考】 ※1 有効登録者数の内訳

	町内	町外	計
R5年度	1,733人	1,035人	2,768人
R4年度	1,865人	1,022人	2,887人

※2 対象別実施回数

	一般	YA（ティーンズ）	児童	計
R5年度	64回	35回	52回	151回
R4年度	65回	43回	47回	155回

#### 《用語の説明》

- 「レファレンス」… 利用者が求める資料や情報を探したり調べること
- 「相互貸借」… 利用者が読みたい資料がない時、他の図書館から借りて提供すること（又は、当館の資料を他館に貸し出すこと）
- 「有効登録者数」… 登録者のうち当該年度に実際に図書館から本を借りた人数（登録していても借りなければカウントされない）
- 「予約」… 貸出中の本が返却されたら順番に借りられるサービス
- 「リクエスト」… 当館に無い本を読みたい場合、購入して提供するサービス（予算の範囲内のサービスなので提供できない場合もある）

### 〈図書館職員自己評価〉

#### 【成果と課題】

- ・入館者数は増えているが、貸出点数が伸び悩んでいる。本を借りるだけでなく、居場所として図書館が選ばれているともいえるが、引き続き魅力的な選書・配架・展示を心掛け、貸出点数の増に繋げて行きたい。
- ・丁寧なレファレンス対応、的確な資料の提示、当館に所蔵がない資料もリクエストや相互貸借で対応するなど、利用者のニーズに応じた資料の提供ができていることが成果として表れていると感じる。今後も暮らしに中の身近な図書館となるよう心掛けたい。
- ・ホームページの更新については、適宜最新の情報をアップし鮮度の高い情報発信に努めた。

### 〈図書館協議会の評価〉

#### 【評価内容】

- ・入館者数は増えているが、総貸出点数は減少している。要因としては図書館利用目的の多様化（貸本から学習・調査研究等へ）や、利用者の高齢化による有効登録者数の減が影響していると考えられるが、今後もテーマ展示やホームページの更新により、利用者が本を手にしたくなる仕掛けや、時代に即した鮮度の高い情報発信に努められたい。
- ・評価対象外ではあるがレファレンス件数、予約・リクエスト数が多いということは、利用者にとって図書館職員の丁寧な対応により、信頼され身近な存在である証とも言える。今後も利用者寄り添った図書館運営を望む。

総合評価

B

### Ⅲ 誰もが集える図書館

#### 1 利用環境の整備

- 【取組事項】 ・安心して利用できるよう安全管理と防災体制を整える。  
 ・安全性・快適性を確保するため施設の点検や巡回を行う。

〈評価の指標〉

指 標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①消防・防災訓練（回数）	2回	2回	2回	100.0%	A
②館内・館外巡視（1日あたりの巡視回数）	4回	4回	4回	100.0%	A

#### 2 各種事業の開催と支援

- 【取組事項】 ・所蔵資料を活用した講座や講演会を開催する。  
 ・町民等が主体となって行う事業に関して共催・後援する。

〈評価の指標〉

指 標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①一般向け事業（回数）	24回	24回	25回	104.2%	A
②子ども向け事業（回数）	9回	9回	9回	100.0%	A

〈図書館職員自己評価〉

<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防防災訓練は法令基準通り実施し、指摘事項については速やかに改善した。また、館内館外巡視は定時巡回により快適な利用環境の保持に努めた。</li> <li>・聖籠緑地公園において幅広い年齢層を対象とした新規イベント「本toピクニック」を他団体と協働により開催し、町立図書館のPRにも繋がった。</li> </ul>
---

〈図書館協議会の評価〉

<p>【評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館単独のイベントの外に、他団体との連携や会場を館外にするなど、新たな発想で図書館の魅力を発信したことは大いに評価できる。今後も広い視野を持って図書館の利用促進につなげていただきたい。</li> </ul>
--

総合評価
A

# 項目別評価票

## Ⅳ 資格を持った職員と町民が生き生きと活躍する図書館

### 1 職員の充実

- 【取組事項】 ・利用者サービスの低下を招くことのないよう適切な人員配置に努める。  
 ・職員の資質を高め、利用者サービスの向上につなげる。

〈評価の指標〉

指 標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①正規職員数	6人		8人		
②会計年度任用職員	7人		8人		
③会計年度任用職員（短時間）	3人		1人		
④職員研修実施回数（外部及び館内）	9回	9回	17回	188.9%	A
⑤司書会議及び選書会議の回数	52回	52回	64回	123.10%	A

### 2 関係団体との協働

- 【取組事項】 ・ボランティア団体の活動を支援・育成し、利用者サービスの向上に努める。  
 ・図書館協議会の開催により意見提案を求める。

〈評価の指標〉

指 標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①ボランティア活動日数 ※1	115日		100日		
②図書館協議会開催回数	4回		4回		

注：図書館協議会開催回数に正副委員長会議1回を含む。

【参考】 ※1 団体別活動日数の内訳

図書館ネットiせいろう	39回
赤いふうせん	34回
キャンディ倶楽部	11回
スクラップボランティア「スヌ」	16回

### 3 町民の意見反映

- 【取組事項】 ・「みなさんの声」による要望に適切に回答反映させる。  
 ・普段からコミュニケーションを図り利用者ニーズを意識する。

〈評価の指標〉

指 標	R4年度実績	R5年度目標値	R5年度実績	達成率	指標別評価
①「みなさんの声」投稿数	7件		10件		

〈図書館職員自己評価〉

【成果と課題】

- ・職員研修については外部講師を招いての研修の外、職員相互による課題提起と課題解決に向けた勉強会を開催し、職員のスキルアップに努めた。
- ・司書会議及び選書会議についても、昨年度よりも数多く開催し、職員間の情報共有と共通認識を図り、限られた予算の中で利用者ニーズに応じた選書作業も行うことができた。

〈図書館協議会の評価〉

【評価内容】

- ・相当数の職員研修や司書会議・選書会議を開催しており職員の意識の高さと熱意を感じる。その一方で職員の過重負担も懸念されるので、ボランティア団体との協働についても更に検討されたい。

総合評価

A